

厚生労働省補助金事業※の概要

補助金事業は、経営者と従業員およびご家族の健康増進を通じて将来の医療費を適正化し、保険料率の低減など事業所や加入者の負担軽減につなげ、健保と事業所の持続的な発展を目指す取り組みです。

※厚労省令和3年度高齢者医療制度円滑運営事業費（予防・健康づくり大規模実証事業（特定健診・保健指導の効果的な実施方法に係る実証事業））

取り組み内容



各取り組みへのご協力をお願い致します。

※具体的な取り組みは2022年4月より順次実施していきます（最終年度は2024年度を予定）。 ※アンケートの実施内容等の詳細は別途ご案内します。



〒453-0804 愛知県名古屋市中村区黄金通1丁目18番地
TEL: 052-461-6131 FAX: 052-461-6135

Mail: aikempo@aiteturen-kenpo.or.jp
URL: <https://www.aiteturen-kenpo.or.jp>

お問合せ先・担当者



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

愛鉄連健康保険組合加入事業所の皆様へ

健康経営のすすめ

※「健康経営」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

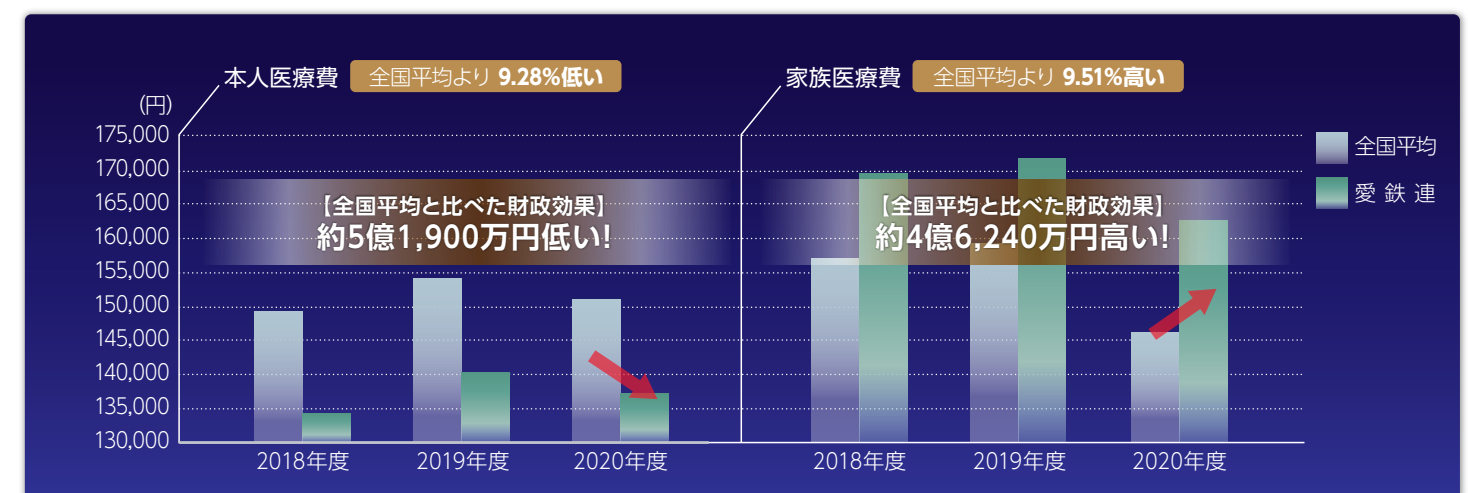


「愛・健康サポート事業」が厚生労働省の補助金事業として採択されました

愛鉄連けんぽは、愛・健康サポート事業を始めとするこれまでの取り組みをより積極的に推進させていくため、加入事業者の健康経営のサポートや実態調査により、ご家族の健康増進も強化していきたいと考えています。

※厚生労働省の補助金事業の概要については裏表紙をご覧ください。

今後は、ご家族へのサポートも強化していきます。



本事業は、将来医療費の削減により保険料率の引き下げにつなげ、事業所と健保組合の持続的な発展を目指す取り組みとなっておりますので、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

オフィシャルパートナーの「**アクサ生命保険株式会社**」健康経営アドバイザー※が加入事業所の「**健康経営**」をサポートします。

※「健康経営アドバイザー」制度とは、健康経営の普及を図るため、東京商工会議所が経済産業省から委託を受けて実施する資格制度です。

補助金事業のオフィシャルパートナーのご紹介



株式会社 データホライズン

健診とレセプトデータの分析、企業・被扶養者アンケート等による実態調査を実施します



帝京大学

公衆衛生の専門的観点から、データ分析等を行い、事業の効果検証を行います。



アクサ生命

従業員とご家族への対面により、従業員の幸せ (Wellbeing) へのサポートを実施いたします。



「健康経営」は、企業の永続的な発展と従業員の幸せを目指す未来への「投資」です。

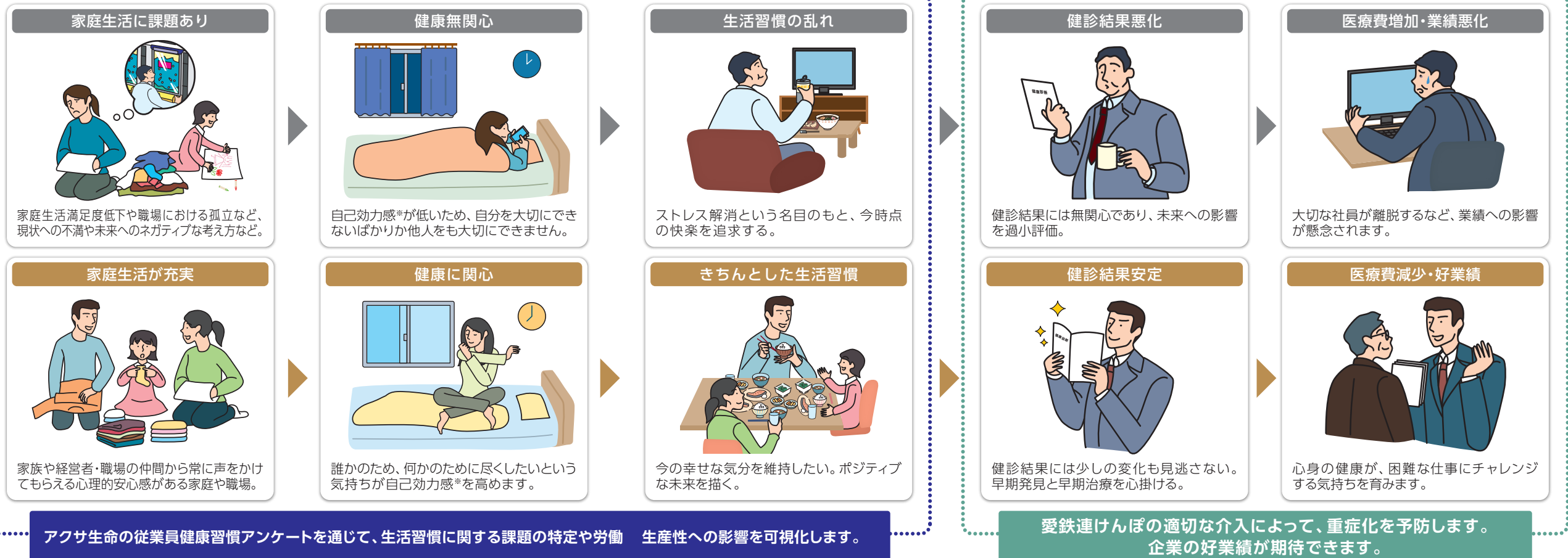
1 「健康経営」とは

「健康経営」とは従業員の健康保持増進の取り組みが、将来的には収益性を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点で捉え、戦略的に実践すること

■ 従業員と家族の健康が企業業績にもたらすイメージ

企業業績に
悪影響を及ぼす
連鎖反応

企業業績に
好影響を及ぼす
連鎖反応

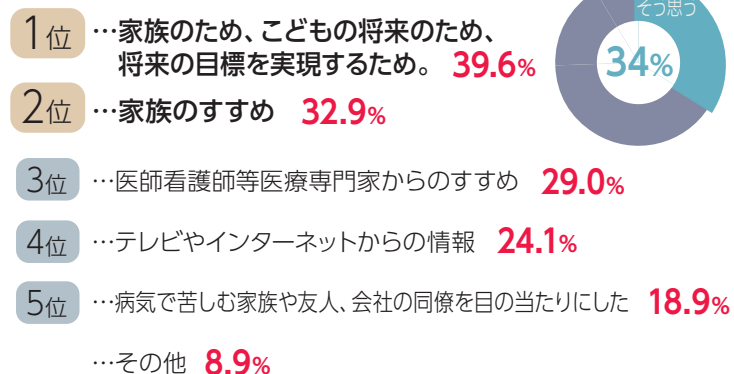


※自己効力感とは、「ある状況下で結果を出すために適切な行動を選択し、かつ遂行するための能力を自らが持っているという自分に対する信頼感」のことです。

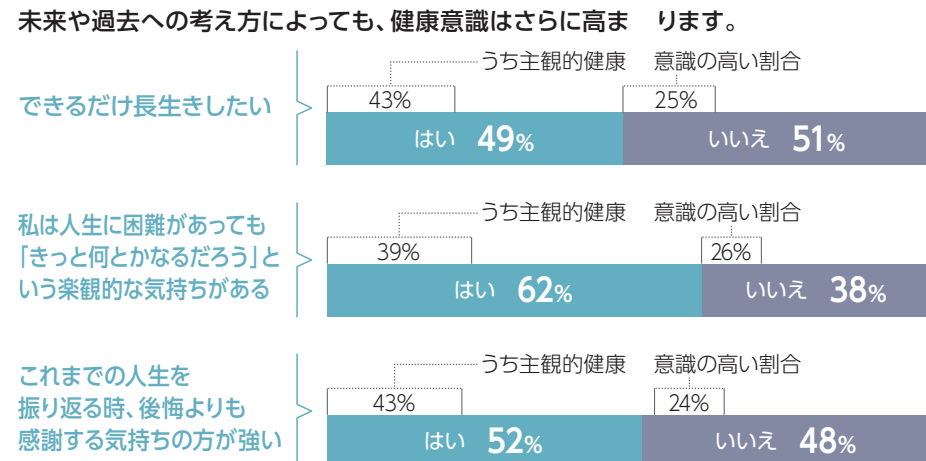
2 なぜ家族との関係性・家族の健康を起点として、企業業績に相関関係があると言えるのでしょうか？

理由1 家族との良好な関係を保ち

主観的健康意識の高い社員(全体の34%)が、健康行動を取る理由は？(複数回答可)



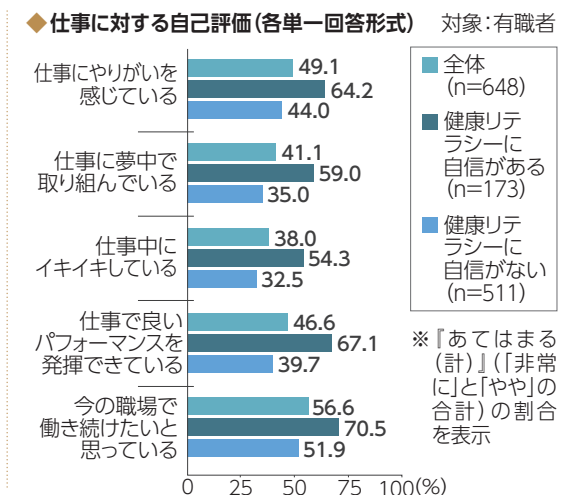
理由2 未来に希望を持ち、これまでの人生に感謝し



理由3 健康に対する知識を持った社員が、企業発展の要となります。

健康リテラシーの高い社員は25.3%
健康リテラシーに自信のある知識としては

- 1位 …休息・睡眠(必要性や質を高める方法)
- 2位 …「健康診断」(目的や項目、重要性)
- 3位 …身体の不調(運動法、からだの不調の原因など)



(理由1・理由2の出典元) アクサ生命の実施した健康習慣アンケート(2021年8月2日～2021年12月1日) 企業数1,335社 従業員数41,518名の結果より算出
(理由3の出典元) アクサ生命の実施した「金融リテラシーと健康リテラシーに関する意識調査2021」ネットエイジアリサーチ社インターネットモニター会員

を母集団とする20歳～69歳の男女 2021年11月10日～11月12日 インターネット調査(全国) 有効回答数:1,000サンプル(有効回答数から抽出)

アクサ生命の「健康経営サポート」についてご説明いたします。

1 経営者の従業員への想いを実現すること

2 活き活きとした職場環境づくりをサポートすること

3 従業員のヘルスリテラシーを向上すること

4 従業員の内発的動機付けの機会を提供すること

5 従業員とご家族の幸福を目指すこと

Step1

経営者へのご説明 健康経営実施決定

- 「健康経営」とは、従業員に対する健康投資であることへの理解
- 「健康宣言」の作成についてサポートを実施いたします。

健康宣言

Step2

従業員健康習慣アンケートの実施

- 従業員の皆様の匿名性を確保したうえで、生活習慣や仕事に対する考え方などをお聞きます。
- 会社PCまたは個人のスマホで回答いただけます。

Step3

経営者へのフィードバック

- 生活習慣に関する課題の把握
 - 労働生産性との関係性の把握
- 従業員の健康課題が経営課題として認識することが可能となります。

Step4

従業員セミナー実施

- 職域コミュニケーションを通じた健康作り
- 個人の意識の変化
- ワークエンゲイジメントの醸成

Step5

従業員への個別コンサルティング

- 従業員のご希望に応じて、個別のご相談を承ります。
- 健康や金融、ライフプランなど

Step6

顕彰申請サポート

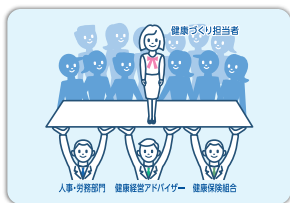
- 「これまでの取り組みを振り返り、顕彰に必要な項目をコンサルティングします。」

顕彰獲得

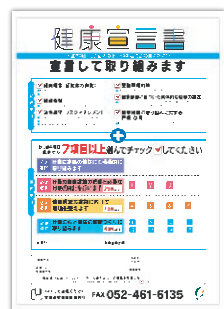
※上記サポートについては、直接的な「金銭投資」は発生しません。セミナーにおいて、全従業員への就業時間中の実施により、「時間投資」をお願いいたします。

健康経営の土台作り

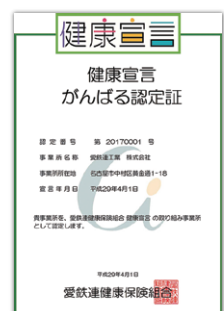
1 健康宣言の作成と健康作り担当者の設置



2 取り組みを検討



3 がんばる認定証を受理



健康課題の把握

1 従業員の生活習慣課題の把握

- 飲み物
- 食生活
- 運動
- 喫煙
- 心の健康
- 睡眠
- 適正飲酒

2 仕事満足度や職場の環境(心理的安心感やコミュニケーション)

3 家庭生活満足度や人生100年時代の人生観、仕事観など

具体的な対策作り

1 仕事内容別、地域別、など生活習慣課題の把握

- 従業員のワークエンゲイジメントの把握
- 社会的健康(健康の社会基盤 Social Capital)について把握する。
- 従業員の健康課題と労働生産性との関連性について理解する。

2 具体的な改善対策を決定する。

内発的な動機付け

1 従業員の課題

- 健康無関心
- 明るい未来を描けない(長生きを望まない)

2 解決策

- ヘルスリテラシー向上
- 考え方、捉え方の変化、内面的変化を促す

家族を含めた目標設定

1 未来のなりたい自分、ありたい家族を明確化し、ポジティブな未来を描く。

2 健康を手段として捉え、目標設定、ライフプランを作成する。

効果検証・振り返り

- 経済産業省 健康経営優良法人



- あいち健康経営アワード など

健康経営実践のためにぜひ健康経営アドバイザーをご活用ください



愛鉄連健康保険組合
常務理事 井崎 茂

愛鉄連健康保険組合では加入事業所572社及び加入員66,750人の健康管理を支援することで重症化を予防し、将来医療費を抑えて健康保険料率の削減を目指しています。そのための考え方として、事業所には「健康経営」への取り組みを推奨しています。当組合では事業所が「健康経営」という戦略を導入することで、従業員の健康を意識した経営を実践し、今ある労働力の質を落とすことなく次の世代に引き継いでいくことが重要と考えており、事業所の「健康経営」を支援してまいります。今回の補助金の採択では、アクサ生命保険株式会社をパートナーとして「健康経営」の説明を委託することとしています。アクサ生命保険株式会社は、健康経営アドバイザー資格を有する社員が5000名を超え、日本有数のアドバイザーとして期待しています。今後、当組合に代わって事業所に説明に伺う仕組みとしていますのでよろしくお願いいたします。

従業員の健康と仕事のやりがいこそが会社発展の礎

2017年頃に健康保険組合から健康経営の情報をいただき、取り組みを開始しました。当初は喫煙率も高かったのですが、未成年の新入社員の入社とともに工場敷地内の喫煙スペースを屋外移動へと段階を追って進め喫煙率も徐々に下がっていききました。

空調の使えない製造現場の夏場は蒸し暑く、マスク着用もかなりのストレスになっており、今後はメンタル面の把握のためストレスチェックを実施したいと考えています。

また、社員が使用する自動販売機についてもできるだけ健康的な飲料を飲んで欲しいという考えから、無糖飲料の割合を増やしたり、歩く歩数によってポイントが貯まり、それがお茶に変えられるような仕組みも取り入れました。

当社は、業務用厨房機器のプラスチック部品が主力ですが、今後は先端医療機器のカバー部品や機能部品に拡げることで、社員の士気ややりがいの向上につなげ、より社会に貢献ができる会社を目指していききたいと考えています。



株式会社大京化学
代表取締役社長 中村 公彦様
従業員数44名(男性33名・女性11名)

当社は、アクサ生命との付き合いも古く、今では、定例となっている昼休みの従業員相談会についても一手をお願いをしています。

20年ほど前に、労働力不足に備えて、60歳代の高齢者の雇用を開始しました。今でも元気に働き続けていただいている社員(80歳代)に共通する点があることに気が付きました。それは、夫婦仲が非常に良いことや常に感謝の気持ちを忘れないこと、あるいは地域の活動などにも積極的に参加していることなどです。幸せな状態であるからこそ、ずっと働き続けられるのだ、ということに改めて気づかされました。「社員の働きがいや生きがいが健康で幸福な人生を創る!」ということを今後とも目指していききたいと思います。

「社員とともに会社が成長し続け、皆が幸せになる」の実現に向けて

弊社は社員と共に会社が成長し続け皆が幸せになること、そして創意工夫と品質保証で皆様の信頼に応えるモノづくりを経営理念に掲げています。それ故に社是に安全第一を標榜し、一日の大半を会社で過ごす社員の安全管理や衛生管理に細心の注意を払いながら環境を良くしていくことをごく自然のこととして実践していました。健康保険組合から健康経営優良法人の概要を聞いて、既に対応していることで申請できると判断し、「健康経営」という言葉に変えて進めてまいりました。

今後も社員全員がより健康で生きがいをもって仕事をしてもらうために、産業医や健康保険組合等と密接に連携しながら、様々な健康経営の取り組みを継続してまいりたいと考えております。



株式会社東海機械製作所
取締役社長 近藤 盛仁様
従業員数110名(男性96名・女性14名)

アクサ生命の提供してくれた従業員健康習慣アンケートからは、従業員の運動不足や食生活に課題があることがわかりました。

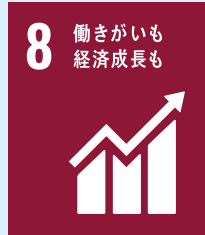
そのため、毎日のラジオ体操はもちろんのこと、健康保険組合が実施する年2回のウォーキングラリーにも会社が費用を負担して参加を促しました。また食生活改善に向けて、会社が手配する仕出し弁当も低カロリー弁当を選べるように変えました。今回、アクサ生命と愛鉄連健康保険組合が共同で社員とそこご家族の健康作りを実施するというお話しをお聞きして、大変期待しています。

SDGsの取り組み

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



国際連合による持続可能な開発目標(2015)では、「3.すべての人に健康と福祉を」「8.働きがいも経済成長も」にみられるように、健康、働きがい、経済成長は、世界共通の開発目標に位置付けられています。今後は、経済価値だけでなく社会価値をも同時に達成することが、企業に求められています。「健康経営の推進」は政府の進めるSDGsの目標(SDGsアクションプラン2022~全ての人が生きがいを感じられる、新しい社会へ)に掲げられています。



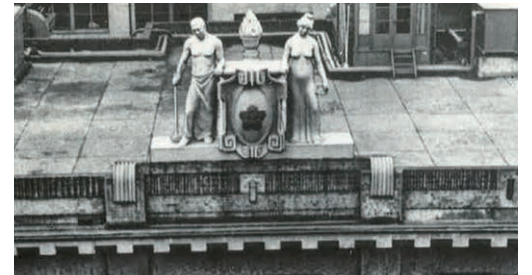
アクサ生命の取り組み

1. アクサ生命の歩み

アクサ生命の前身である日本団体生命は、全国産業団体連合会(現在の日本経済団体連合会「経団連」)と全国の商工会議所の共同出資により、日本初の団体保険専門会社として昭和9年に設立されました。当時の基幹産業である炭鉱における落盤事故では、何の保障もなく、寡婦が幼子の手を引いてひっそりと炭鉱を後にする姿がありました。そのような課題を解決するために、日本に初めて遺族保障制度を導入し、「遺族保障は個人の責任」という社会通念を変えることに努力してまいりました。

また、第2代社長の膳桂之介は農商務省労働課長時代に**健康保険法の立案に携わり、大正11年の成立に尽力するなど、現在の国民皆保険制度の礎を作りました。**

アクサ生命に変わっても、私たちは、「健康は個人の責任」という社会通念を変え、健康保険制度を堅持しつつ、多様性を持つ誰もが、活き活きと活躍できる社会を目指して努力してまいります。



東京丸の内 日本工業倶楽部(日本団体生命創業の地)
戦前の産業の中心であった石炭(ハンマーを持った男性)と紡績(糸巻きを持った女性)を表現している。

2. 愛知県との包括連携協定の締結(2018年12月)

愛知県とアクサ生命は、「愛知県健康経営推進企業」の登録制度や「あいち健康経営アワード」、「あいち健康マイレージ事業」をはじめとする県健康増進施策の普及促進に連携・協力して取り組み、健康経営を実践する企業等の増加を図るとともに、県民の健康寿命の延伸に資することを目的として、「健康経営の普及及び健康づくりの推進」に関する連携協定を締結しました。

(連携・協力事項)

- 1 愛知県内の企業等における健康経営の普及促進に関すること
- 2 愛知県民の健康づくりの増進に関すること



愛知県を含めて、連携の輪は全国に広がっています。



3. 社内への取り組み

食事・運動・メンタルヘルス・がん対策を柱としたアクサウェルネスプログラムの策定、健康教育「Health KIOSK」の実施、等各種プログラムを通じて従業員の健康増進に取り組んでいます。

健康経営優良法人制度
大規模法人部門ホワイト500
2017.2018.2019.2020.2021.2022
(6年連続認定)



健康企業宣言
東京推進協議会
金の認定を受賞



仕事と家庭の両立を支援する
優良企業として厚労省より
「プラチナくるみん」認定



4. 機関投資家として

AXAグループ・アクサ生命は、ESG投資に積極的に取り組んでいます。投資先企業のESGの状況を評価して、投資判断に組み入れています。健康経営の取り組みは、ESG評価の一項目として採用しています。この機関投資家としての取り組みは、健康経営に取り組む企業を後押しし、その普及を目的としています。

ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったものです。今日、企業の長期的な成長のためには、ESGが示す3つの観点が必要だという考え方が世界的に広まってきています。

